

## ●よびかけ

経済再建を押し立て、さまざまな課題に「この道しかない」と強行突破の政治姿勢を貫き、2014年衆議院選挙に大勝した自由民主党。「この道」とはなんだったのか。あれから2年、安倍政権は外交・安全保障だけでなく、労働・生活・教育などあらゆる分野において反人民的な攻勢を強め、「一億総活躍」を強い、富裕層と不安定な低賃金労働者の格差を上げ、戦争へとつづく地獄への道を進んでいます。「女性の活躍」が奨励される、しかし保育所もなく無権利低賃金で出産する女性がたくさんいます。福祉を切り縮める安倍政権の政策は、女性を銃後の守りとして、前線に送り込まれる自衛隊員と同様、使い捨ての消耗品扱いすることにほかなりません。大企業・資本家は米国新大統領の言動に右往左往し固唾を呑んで資本投下の時と市場を窺い、カジノ解禁や武器輸出・原発輸出でも世界中から金をかき集めようとしています。まさに金の亡者たちの欲望が戦争を引き起こすのです。

そんな最中に天皇は生前退位を言い出しました。敗戦後の天皇制は、憲法の不戦の誓いおよび米軍による沖縄占領・駐留と引き換えに維持されました。矛盾にみちた天皇制は廃止するのが歴史の必然です。平和憲法がありながら自衛隊が南スーダンに派兵され、沖縄の基地が強化され米軍と自衛隊の一体化が強行されるこんにち、本格的な侵略戦争に乗り出す態勢固めを進め、韓国・オーストラリアとも同盟して朝鮮・中国包囲網の形成に躍起となっています。その韓国ではいま、民衆の闘いが朴槿恵大統領を弾劾訴追に追い込んでいますが、かれらが日本帝国主義の侵略支配に抵抗した歴史をもつことを忘れてはなりません。

多くの女性が望むのは、一握りの富裕層に富を集中させるグローバリゼーションのもとでの「成長戦略」ではなく、子どもが徴兵されたり、甲状腺がんに侵されたり、満足な食事ができなかつたりすることのない、そして「マタハラ」などを受けずに出産でき、健康で働ける、「過労死」や「ワーキング・プア」のない社会ではないでしょうか？ 私たちは、反戦・平和・女性の権利拡大を求めて闘ってきた国際婦人デーの伝統を受け継ぎ、世界の変革を求める人びとと連帯し、今年も集会を開催します。安倍政権の押し付ける戦争の危機を跳ねのけましょう。みなさんの参加をお待ちしています。

2017国際婦人デー3・4東京集会実行委員会

## ●スローガン

- ・戦争法・特定秘密保護法は廃止せよ！
- ・共謀罪反対！ 緊急事態条項はいらない！
- ・医療・社会保障制度の破壊を許すな
- ・労働法制改悪・「残業代ゼロ」法案反対、労働者派遣法は撤廃せよ！
- ・「利益は大企業、リスクは国民」のTPP反対
- ・すべての原発を廃炉に 再稼働・海外輸出反対
- ・中国、朝鮮への敵視政策をやめろ！ 排外主義を煽るな
- ・「慰安婦」制度被害者に公式謝罪と法的補償をせよ 日韓「合意」は解決ではない
- ・朝鮮高校の無償化を早期に実現せよ 補助金の復活を
- ・辺野古新基地建設反対 高江から全国からオスプレイは出ていけ
- ・南西諸島への自衛隊配備反対

表の絵 パブロ・ピカソ「海辺をかける二人の女」(1922年)



①沖縄女性殺害事件前抗議行動(16.5.25 撮影=Shinya) ②立ちはだかる機動隊員と、座り込み抗議を続ける人びと(16.10.11 撮影=田沼久男) ③憲法集会(16.5.3 撮影=Shinya)

## ●国際婦人デーの歴史

国際婦人デーは、第一次世界大戦の勃発の危機に際して、1910年、第2インターナショナル・コペンハーゲン大会に先立って開催された第2回国際社会主義婦人会議においてクララ・ツェトキンらが提唱し始めました。世界の女性たちは、戦争の恐怖からの脱出、貧困や劣悪な労働条件の改善、平和と男女平等を求めて起ちあがったのです。以来3月8日は、「戦争反対と婦人の権利のための国際統一行動日」として世界中で集会やデモがとりくまれています。

